



# 高浜原発はMOX燃料 MOX燃料 はこわい こわいは原発

きる核のゴミも、通常のウランだけの燃料棒より危険

高浜原発三号機（加圧水型軽水炉、出力八七万キロワット）は二月一日午後二時、約三年十一カ月ぶりに再稼働しました。再稼働に反対しようと



1月29日 高浜

高浜現地、大阪の関電本店、京都、東京でも様々な行動がありました。高浜三号機はMOX（プルトニウム・ウラン混合酸化物）燃料を使い



1月29日 関電京都支店前

軽水炉で発電するプルサーマル方式です。ウランが持っている放射線の毒性とプルトニウムが持っている放射線の毒性を比べれば、約二〇万倍危険といわれています。また、これによつてで



1月27日 大阪・関電本店前

「ごく短い間の保管ということに関しても、日本の普通の原子力発電所でできてきた使用済み燃料というのは、数年後には再処理工場に運べるといふ、その程度の発熱だったので、MOX燃料の場合には、ウラン燃料に比べて発熱量が高いので、おそらく数年ではなくて、数十年間（注）は原子力発電所の敷地から動かせなくなると思われます。」（二〇一三年・六月二十二日ラジオフォー

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

ラム・小出裕章氏)

注：五〇〇年という説もあります。

現在日本ではウラン燃料に対するプルトニウム燃料の比率は三分の一までと決まっています。高浜三号機では一五七体中二四体がMOX。二月末再稼働といわれている高浜四号機は一五七体中四体はMOX燃料で、四号機では初めてプルサーマル発電を実施します。プルサーマル発電は全国で五基目、関電保有原発では高浜三号機に次いで二基目になります。

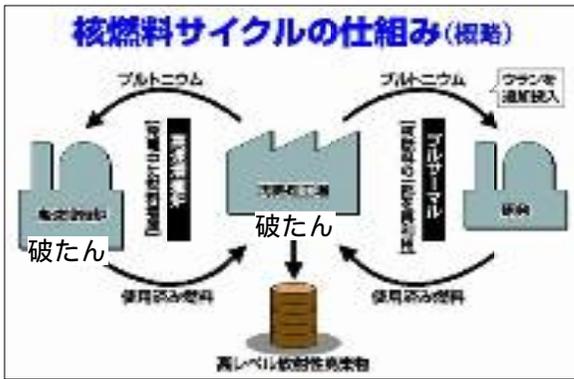
三分の一ではプルトニウムをそれほど燃やせないで青森県の大間原発

は一〇〇%MOX燃料にしようとしています。

現在日本は海外保管分も含め四七トンのプルトニウムを保有しています。プルトニウムは核爆弾の原料です。だから保有していたいというのが国の本音です。それ隠す為にプルトニウムを燃やしたといったのが真相です。

小出さんは言います。

「もう国際的に言えば、日本は潜在的な核兵器保有国と言われてしまっているわけですし、(略)長崎型の原爆を作ろうとすれば、四千発もできてしまうという膨大な量なのです。」日本は使えない道のないプルトニウムを



保持しないという国際公約をもうすでにさせられてしまっているのです。これまででは、取り出したプルトニウムはもんじゅで燃やすと言ってきたわけですが、そのもんじゅも動かないわけ、他の国々から大変疑惑の

目で見られている。」

「仕方がないから普通の原子力発電所で燃やしてしまおうというような、プルサーマルと私達が呼んでいる愚かな計画に追い込まれてしまっているという状況になっていきます。」(二〇一五年八月一日・ラジオフォーラム・小出裕章氏)

このように核燃料サイクルが破たんした末の苦肉の策なのです。こんな理由で危険なプルサーマル発電をされたのではたまたまものではありません。一日も早く再稼働を止めましょう。

アート・アド分会 N